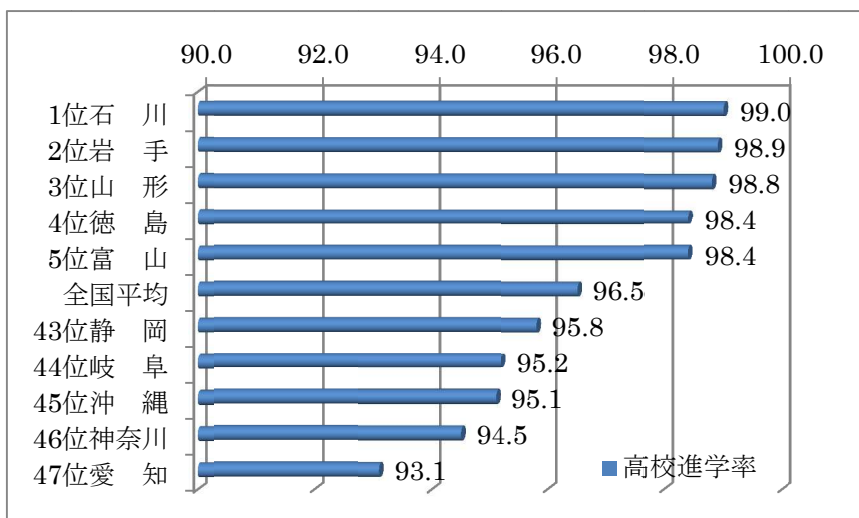


子どもと教育が大切にされる 県政への転換を！

(1) 15の春を泣かせるな!!

- 18年連続で全国最下位?! 高校進学率 -

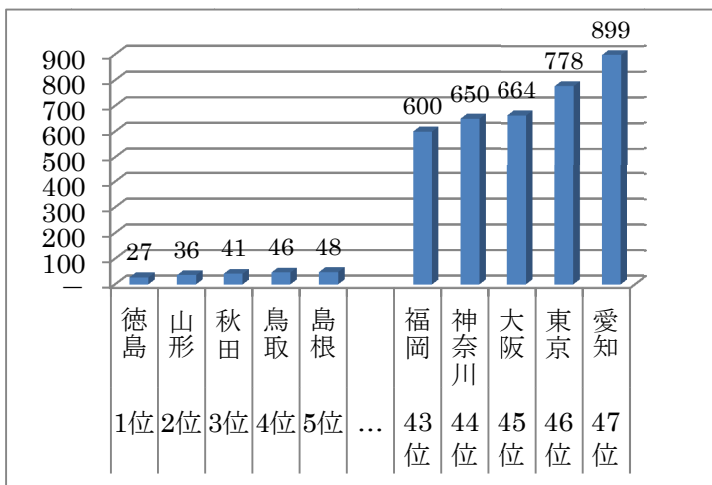


《高校進学率13年度確定値》

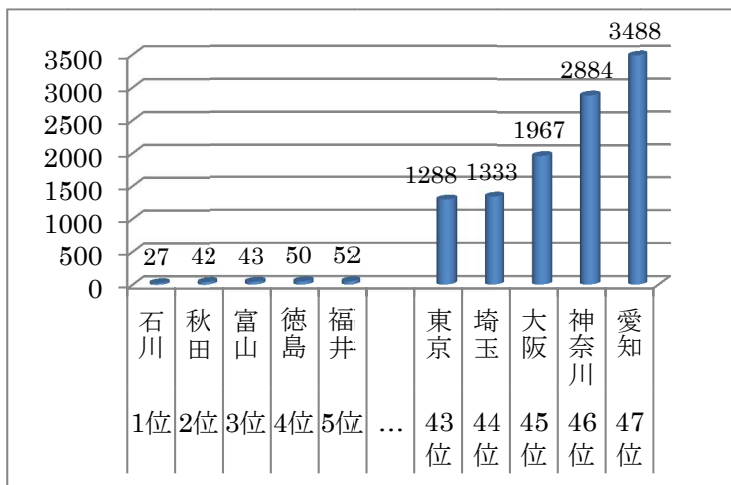
この春の公立高校入試で、愛知県の高校進学率は何と18年連続で全国最下位を記録しました。そのため、行きたくても高校に行けない子どもたちがたくさん出ています。13年度入試の結果では、中学卒業後に進学も就職もできない子どもたちは、899人もいます。こうした子どもたちは、若年無業者と呼ばれていますが、ここ5年は愛知県がずっと全国最多を記録しています。通信制へ進学する子どもたちもまた3488人と全国最多です。その多くはネット通信

とよばれる広域の通信制です。ここ数年の中学卒業生数は7万人程度なので、約5%の子どもたちが通信制に入学していることになります。東京都の中学卒業生数は愛知県より約3万、大阪府は約1万人多いので、これらの都府県と比較すると愛知県の若年無業者や広域通信への進学者が突出しているのがわかります。この原因は、1997年以降高校への計画進学率が93%に抑えられてきたことがあります。子どもたちの希望する学校への進学を保障し、県民の教育権を守るためには、高等学校の募集人数を増やすなど、抜本的な対策が必要です。

《若年無業者数》

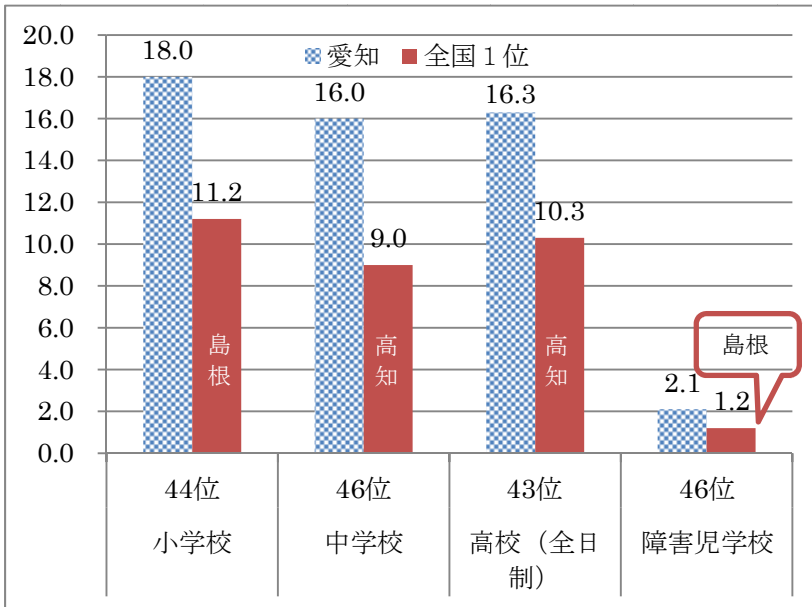


《通信制への進学者数》



(2) 「先生もっと話を聞いて！」

— 子どもも先生も悲鳴… —



《教員一人あたりの児童・生徒数》

学校は、子どもたちのいのちが何よりも大切にされなければならないところです。子どもたちがもがき、苦しむような事態が起きているとき、教職員には、子どもたちの声に耳を傾け、その思いをていねいに聴き、その背景にあるものをしっかりとつかむことが求められます。このように子どもたちにていねいに寄り添うことが、「いじめ」や痛ましい自死を防ぐことにつながります。子どもたち一人ひとりを大切にして、子どもたちと先生がゆっくりと向き合う時間をつくるためには、正規の教職員を増やして30人以下学級を実現することが必要です。少人数での教育

は、子どもたちの学び合いを深め、力を伸ばすことにもつながります。

しかし一方で、子どもたちのいのちを育むべき学校の本来の機能を困難にしているのが、貧困な教育条件です。

愛知県の教員一人あたりの児童・生徒の数は、全国的にも最多レベルです。1位の県と比較すると1.5倍にもなります。子ども一人あたりの教育費も同様で、教育予算は全国で最も貧困な状況にあります。

えっ!? 10人に1人が過労死ライン?!

こうした貧困な教育条件のもとで教職員の長時間過密労働は深刻な状況にあります。

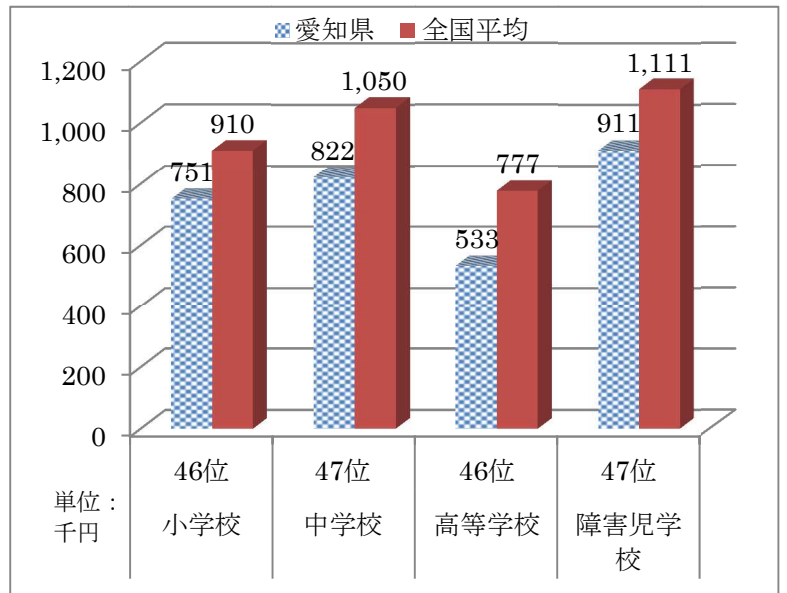
	80h 超	100h 超	80h 超合計
1月平均	320.8人	608.4人	929.2人

《13年度総括安全委員会資料より》

13年度の統計では、県立学校に働く教育職員

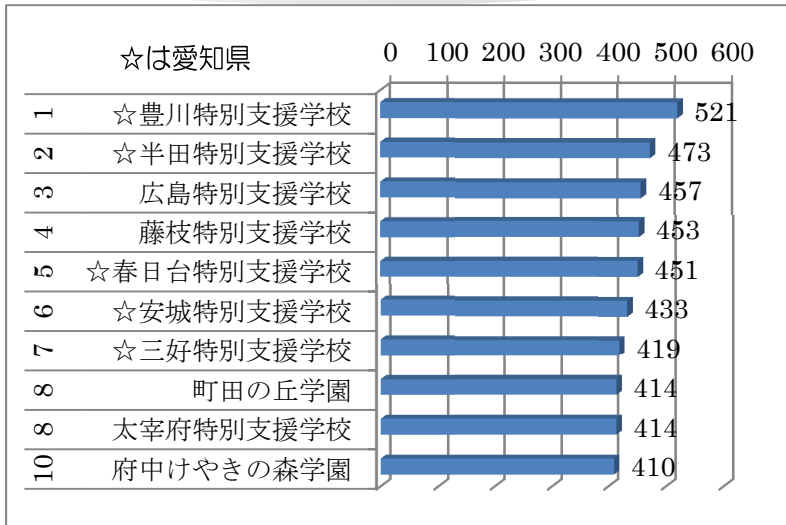
10934人のうち1月100時間を超えて超過勤務をした実人員は、1128人で10.3%。じつに10人に1人が過労死ラインを超えています。月平均では80時間を超えて超過勤務した教職員は929人にものほり11人に1人となっています。こうした長時間労働を解消するためにも正規の教職員を増やすことが必要です。

現在、小学校1・2年生と中学1年生は35人学級が実現しています。これは、前々回の知事選で、少人数学級が争点となって実現したのですが、全ての学年、高校への拡大が求められます。



《児童・生徒1人あたりの教育費》

(3) 障害児学校は 全国NO.1の過大過密!!



《障害児学校過大・過密ワースト10》

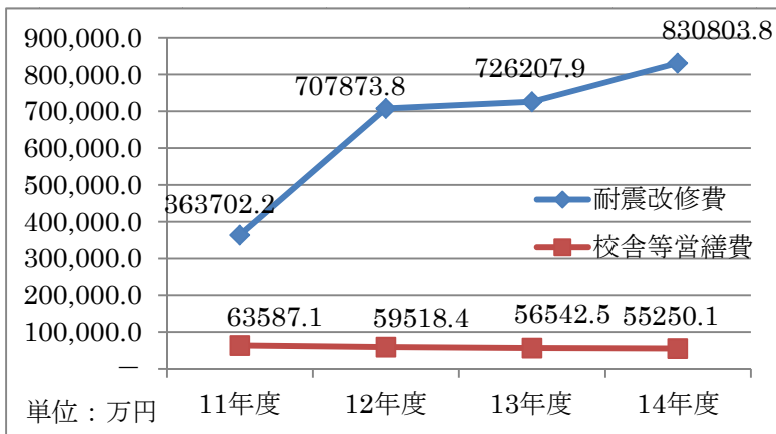
全国で児童・生徒数が400人以上の障害児学校10校のうち5校が愛知です。これらの学校では、図書室も音楽室も更衣室も倉庫も全て教室に転用し、学校によっては給食室の一部も間仕切りをして教室にしなければなりません。雨の日は廊下で体育の授業。トイレには行列ができ、放課中にすませられない状況があります。

また重複学級の認定率も最も低い水準にあります。こうした愛知の障害児教育の現状は、障害児の学習権を侵害するものです。

障害児の発達と学習権を保障するため障害児学校の過大過密の解消は喫緊の課題です。

(4) 老朽化が進むボロボロの校舎

耐震改修によって校舎の修繕などの整備を行う予算（校舎等営繕費）は後退し続け、県立学校は老朽化が激



しくなっています。また、この間グラウンドやテニスコート、プールなどの整備はほとんどできていません。県立学校は、全日制、定時制・通信制、障害児学校を併せて200校あまりです。14年度の予算を1校あたりになおすと、わずかに270万円程度です。これでは校舎の修繕はとてできません。

《ボロボロの廊下と教室》



《雨漏りで腐食した床の間と天井》



(5) 危険がいっぱいの学校!?



《亀裂が入り通行止めの渡り廊下》



《ジャッキで支えられている体育館の床》



※ S50年設置
《業者から危険だと指摘されている救助袋》